

セキュリティ対策

-3-

ファイル人質に 身代金を要求

今年の5月12日から世界規模のサイバー攻撃が発生し、その被害が相次いでいる。今回の攻撃に使われているのは、ランサムウェアと呼ばれる不正プログラムである。ランサムウェアとは、「Ransom(身代金)」と「Software(ソフトウェア)」を組み合わせた造語。感染したパソコンに保存

されているファイルと要求された金額を支払ったところで元に戻せる。キュメントや画像ファイル、音楽ファイルなどへ勝手に暗号化処理を行い、読み取れない状態にしてしまう不正プログラムで、ファイルを暗号化した後に、そのファイルの復元と引き換えに金銭を要求するような文面が表示される。この現象が、Ptor(またはWannaCryなど)とあたかもファイルを人質に身代金を要求するようであることからランサムウェア(身代金要求型ウイルス)と呼ばれている。

要求される金額はさまざまだが、数万円程度の額に相当するビットコイン(仮想通貨)の支払いを要求されるケースが多い。ファイ

ルを暗号化されてしまった後は、ランサムウェア自体を駆除してもファイルを復元することができず、また、要

感染した場合に表示される画面の一例



ランサムウェアに注意

「WannaCry」と表示される。感染経路はいまだ詳細が把握できていないが、分かっているのは、マイクロソフトのウィンドウズの脆弱(ぜいじゃく)性を悪用し、ネットワーク上に当該脆弱性が残る端末が主な感染経路としてWannaCry Ptorに関する最新情報を提供しているため確認していた。社など600カ所、2000端末以上が感染したと報道されている。独立行政法人情報処理推進機構(IPA)では、ホームページ

「重

要なセキュリティ情

ランサムウェアによる暗号化されてしまったファイルの復元は困難なことから、予防がとて重要である。ランサムウェアの感染対策として、以下を実施する。①ウイルス対策ソフトを導入し、定義ファ

②OSおよびソフトウエアのバージョンを常

重要なファイルにつ

ては、定期的にバックアップを実施する。バックアップの方法に